

## XII. ブラジル連邦共和国

### <要約>

	概要	特徴
1. 市場環境の特徴	<p>○社会構造</p> <p>総人口：2億609万人（世界第5位、2016年IMF推計）</p>	
	<p>○経済環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人当たりGDP：8,587ドル（世界73位、2016年IMF推計）</li> <li>・ 実質GDP成長率：-3.3%（2016年IMF推計）</li> <li>・ 1リアル=35.92円（2016年12月末）</li> </ul>	
2. 金融制度の概要	<p>&lt;金融制度&gt;</p> <p>○銀行等の業態（機関数）（2015年12月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合銀行（132）</li> <li>・ 商業銀行（21）</li> <li>・ 連邦貯蓄銀行（1）</li> <li>・ 信用組合（1,113）</li> </ul> <p>○監督官庁：ブラジル中央銀行、国家通貨審議会</p> <p>○預金保険制度：信用保証基金（FGC）。一人当たり、一金融機関ごとに25万リアルを保証。</p> <p>○金融税制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金利所得は総合課税の対象となり、源泉徴収されるが、貯蓄口座は課税対象外。</li> <li>・ 個人所得税率は7.5～27.5%の間で所得に応じて4階層設定されている。</li> <li>・ キャピタルゲイン所得は一律15%の分離課税対象である。</li> </ul>	<p>○1988年にユニバーサルバンク業務を提供できる総合銀行の形態が容認されると、多くの商業銀行が総合銀行に転換したため、数が多い。</p> <p>○上位10銀行のうち政府系銀行は3行入っており、外資・国内銀行を含む全行の預金残高全体の約46.7%、資産額では、約44.2%のシェアを占めている。</p>

<p>3. 郵便貯金の概要</p>	<p>○郵便貯金制度・経営形態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジル郵便電信公社(ECT)が、ブラジル銀行との契約に基づき、バンコ・ポスタール (Banco Postal) という金融サービスを提供。</li> </ul> <p>○郵便公社等との関係・チャネル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラジル郵便電信公社 (ECT) の 6,414 の郵便局で銀行サービス (バンコ・ポスタール) を提供している。</li> </ul> <p>○通常の預金の他、低所得者層向けの預金商品もある。また、ブラジル銀行の貸付商品を郵便局窓口で取り扱う。</p>	<p>○バンコ・ポスタールは、低所得向けの預金商品 (上限額が低く設定されている当座預金口座など) 等を重点的に展開している。</p> <p>○バンコ・ポスタールのサービス対象地域は、全国土の 95%以上となっている。</p> <p>○ブラジル銀行はバンコ・ポスタールの契約を更新しないと 2016 年 11 月に発表した が、12 月になって 3 年間の契約延長が発表された。</p>
<p>4. 金融セクターにおけるリテール金融機関の特徴</p>	<p>○個人金融資産 (2009 年 12 月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総額：約 2.3 兆リアル</li> <li>・現金・預金：19.9%</li> <li>・株式等：33.6%</li> <li>・その他 (保険準備金など)：46.5%</li> </ul> <p>○一人当たり個人金融資産：11,957 レアル</p> <p>○預貯金残高：4,597 億リアル</p> <p>○個人向け住宅ローンの貸出が急増している。主要 2 行 (ブラジル銀行、連邦貯蓄銀行) の住宅ローンは、2010 年の 1,113 億リアルから 3,683 億リアルへと 3.3 倍の規模に成長し、個人向け貸出残高に占めるシェアも 14%から 26%へと上昇した。この背景には、ブラジル政府による住宅建設促進計画 (Minha Casa, Minha Vida) があるものと思われる。</p>	<p>○税制の恩恵を受け、株式・債券など、有価証券の保有率が比較的高い。2009 年 12 月末のデータでは株式等は 33.6%で、現金・預金を上回る。</p>

<p>5. 最近の金融動向と今後の展望</p>	<p>○マイクロファイナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ブラジル政府は、金融包摂（<b>Financial Inclusion</b>）を促進するため、<b>2003</b>年に大手金融機関のマイクロファイナンス参入を促す施策を導入した。</li> <li>• 大手金融機関のプレゼンスがない地域では、信用組合理が事業展開している。</li> <li>• マイクロファイナンスを提供している主要な金融機関としては、バンコ・ポスタール、国有銀行であるブラジル銀行、連邦貯蓄銀行が挙げられる。</li> </ul> <p>○モバイルバンキング</p> <p>ネット利用者層の普及に伴い、モバイルバンキングもユニバーサル・サービスの提供を促進するインフラとして着目されている。</p>	<p>○国内で営業している銀行に対し、預金残高の<b>2%</b>相当額をマイクロファイナンス業務に割り当てる基準を設けている。</p>
-------------------------	---	--